

2006 年度 小委員会活動成果報告

(2007 年 2 月 23 日作成)

小委員会名	都市機能支援システム小委員会		主 査 名：後藤剛史 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋委員会 (海洋研究推進運営委員会)		委員長名：横内憲久 主 査 名：野口憲一
設 置 期 間	2004 年 4 月 ~ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ アダプティブ海洋建築の適地選定手法の提案 ・ アダプティブ海洋建築の平常時の活用方法と適地選定手法について具体的な地域を対象として考察する。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：有		
	主査：後藤剛史(法政大学) 川上善嗣(職業能力開発総合大学校), 大塚清敏(大林組技研), 加藤賢治(豊田高専), 川西利昌(日本大学), 桜井慎一(日本大学), 志村正幸(建設環境研究所), 野口憲一(大成建設), 平田京子(日本女子大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2006 年度予算	68,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kaiyo/s0/activity/study/function/function.htm	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	具体的な地域として横浜を対象に適地選定の検討を行い、その手法の提案ができたと考える。 また適地選定に必要な定量的なデータの収集方法についても十分な調査ができた。
委員会活動の問題点 ・ 課題	

* 小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。